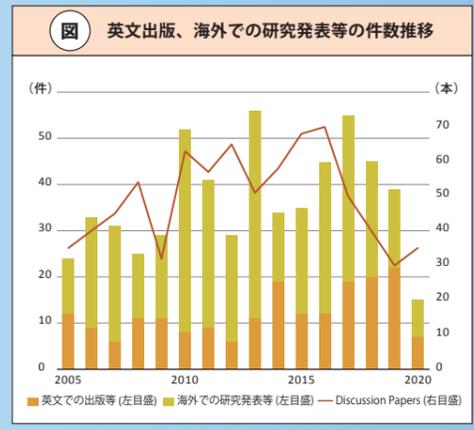


# グローバル化する研究活動

研究成果を発表する場は  
世界に広がっています。



- ボン** 2017年11月 名古屋大学とセッション共催「気候変動、食糧安全保障、公衆衛生の相互作用」@ COP23 ジャパン・パビリオン
- ローザンヌ** 2018年10月 ローザンヌ大学とセミナー共催「Fury in the US: What Global Value Chains Tell Us」@ ローザンヌ大学
- ジュネーブ** 2011年6月 WTO とワークショップ共催「Trade Patterns and Global Value Chains in East Asia: From Trade in Goods to Trade in Tasks (Atlas)」
- イスタンブール** 2007年7月 研究発表「中国の地域産業連関分析」@ 第16回国際産業連関学会
- コロombo** 2017年3月 スリランカ開発戦略・国際貿易省とセミナー共催「緊密化する経済圏：ASEAN と南アジア」
- ジャカルタ** 2011年3月 研究発表「Green Economy, Sustainable Innovation, and Structural Change」@ ERIA、IDE-JETRO、UNIDO 共催 専門家会合 (EGM)
- ダル・エス・サラーム** 2018年9月 東京外国語大学とセッション共催「Resource Management and Political Power in Rural Africa」@ アフリカ・アジア国際会議
- マニラ** 2017年3月 フィリピン開発研究所とセミナー共催「フィリピンにおける障害女性・障害児の貧困削減」
- パリ** 2013年12月 2つのセッション主催「Standard Compliance Capacities and Trade」、「Towards an Inclusive and a Little Bit Ethical Trading System」@ WTO 第9回閣僚会合併催「貿易と開発シンポジウム」
- シドニー** 2010年6月 研究発表 @ 第18回国際産業連関学会
- サンディエゴ** 2013年3月 研究発表 @ Association for Asian Studies (AAS) 年次会議
- ホノルル** 2011年4月 研究発表 @ Association for Asian Studies (AAS) 年次会議
- ウランバートル** 2016年12月/2017年11月 内陸開発途上国国際研究所、モンゴル国家統計局と IDE-GSM セミナー共催
- ニューヨーク** 2013年9月 ワークショップ主催 @ 国連総会「障害と開発」政府間ハイレベル協議併催会議
- ボストン** 2008年4月 研究発表 @ 全米地理学会年次会議 (Governing Global Value Chains セッション)
- メキシコシティ** 2017年6月 研究発表 @ IEA World Congress
- サンパウロ** 2009年7月 セッション主催「BRICs 国際産業連関表」@ 第17回国際産業連関学会
- ブレトリア** 2019年5月 5つの研究報告 @ 第4回 South Africa-Japan University (SAJU) Forum
- ケープタウン** 2008年6月 セッション主催「後発展途上国における工業化：南アジアとアフリカにおける可能性と貧困削減への効果」@ ABCDE (世界銀行開発経済学年次総会)
- マラケシュ** 2016年11月 セッション主催「GVCにおける温室効果ガス排出量の追跡」@ COP22 ジャパン・パビリオン
- ナイロビ** 2016年8月 AERC、ODI とセミナー共催「アフリカにおける経済構造改革」@ TICAD VI 公式サイドイベント
- ロンドン** 2014年3月 中東研究ワークショップ主催 @ 英国国立国際問題研究所 (チャタムハウス)



海外での成果発表をサポートする組織体制の整備は、  
2000年代半ばから急速に進みました。

海外の学会や国際シンポジウム等での発表を支援する体制を整備

英文書籍の外部出版体制を整備 (Palgrave Macmillan IDE-JETRO Series など)

外部の査読付き外国語学術雑誌への投稿を最終成果とする研究会制度がスタート

WTO Public Forum におけるセッション主催 (日本の機関として初)。以降、毎年参加。

2004年 ディスカッションペーパーの刊行開始

2005年

2007年 個人研究制度が拡充され、論文執筆を目指す個人研究が導入される

2008年

2013年

